

令和5年度事業の概要

I 事業報告

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

1 庶務の概要

(1) 主な会議、行事等

月 日	事 項	場 所
4. 3	事務局長等辞令交付	栽培漁業センター
4. 11	放流指導業務現地調査	大洗サンビーチ
4. 13	水産部局所管事業等説明会	県庁
4. 18	栽培関係事業打合せ	栽培漁業センター
4. 20	令和5年度栽培漁業協会事業検討会	栽培漁業センター
4. 21	第31回評議員会（みなし決議）	栽培漁業センター
4. 25	理事会開催に係る打合せ	県庁
4. 26	マサバ養殖技術開発に係る打合せ	栽培漁業センター
5. 8	茨城県漁港協会通常総会	すいさん会館
5. 10	監事監査	栽培漁業センター
5. 11～12	ヒラメ負担金に係る調整	大洗町漁協他
5. 15	茨城県遊漁船協議会通常総会	すいさん会館
5. 16	第32回理事会開催	すいさん会館
5. 23	公社等連絡協議会代表者会議	開発公社ビル
5. 29	評議員会開催に係る調整	県庁
5. 31	第32回評議員会開催	すいさん会館
5. 31	第33回理事会（みなし決議）	栽培漁業センター
6. 2	マサバ養殖技術開発に係る打合せ	栽培漁業センター
6. 12	茨城県海洋高校視察	栽培漁業センター
6. 28	ヒラメ負担金にかかる組合長会議	すいさん会館
7. 4	出資法人等経営評価ヒアリング	県庁
7. 6	第34回理事会（みなし決議）	栽培漁業センター
7. 6	ヒラメ栽培漁業協力依頼	大洗町、ひたちなか市
7. 13	マサバ養殖技術開発に係る打合せ	栽培漁業センター
7. 13	寄附金受領	栽培漁業センター
7. 19	栽培漁業推進協議会	すいさん会館
7. 20	全国育樹祭緑の少年団体験学習	栽培漁業センター
7. 26	出資法人等監督基準実地検査・立入検査（県）	栽培漁業センター
8. 8	第33回評議員会（みなし決議）	栽培漁業センター
8. 8	寄附金受領	栽培漁業センター
9. 6	県庁インターナンシップ実習生視察	栽培漁業センター

9. 8	第35回理事会（みなし決議）	栽培漁業センター
9. 15	職員採用に係る打合せ	県庁、すいさん会館
9. 16～18	全国豊かな海づくり大会	北海道厚岸町
9. 25	養殖マサバ求評会	水産試験場
10. 16	茨城県遊漁船協議会理事会	栽培漁業センター
10. 18	全国漁港漁場大会、中央要望	東京国際フォーラム他
10. 20	干し芋残渣餌料試験打合せ（WEB）	すいさん会館
10. 26	海外漁業協力財団研修生視察	栽培漁業センター
11. 8～9	海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議（WEB）	ザ・ヒロサワ・シティ会館
11. 12	職員採用試験（一次試験）	栽培漁業センター
11. 14～15	太平洋北海域種苗生産機関所長・技術者会議	鹿島セントラルホテル
11. 20	県庁農林水産部新採職員研修	栽培漁業センター
11. 21	面接試験に関する職位に研修会	栽培漁業センター
12. 6	職員採用試験（2次試験）	栽培漁業センター
12. 12	養殖マサバPRに係る知事表敬訪問	県庁
12. 15	網いけす養殖マサバ出荷試験	那珂湊漁港
12. 18	第2回監事監査	すいさん会館
12. 20	千葉科学大学視察	栽培漁業センター
12. 27	はまぐり移植放流漁具改良試験	平井海岸
1. 10	県監査委員事務局による予備監査	栽培漁業センター
1. 18	消防訓練	栽培漁業センター
1. 26	網いけす養殖マサバ出荷試験	那珂湊漁港
2. 2	茨城県漁業関係者新春交流会	水戸京成ホテル
2. 5	新規採用職員オリエンテーション	栽培漁業センター
2. 14	服務規程に関する職員研修会	栽培漁業センター
2. 20	干し芋残渣餌料試験打合せ	栽培漁業センター
2. 21	寄付金受領	栽培漁業センター
2. 22	ICT養殖実証事業評価検討会	那珂湊漁村センター
3. 4	寄付金受領	栽培漁業センター
3. 27	第36回理事会	すいさん会館

2 登記事務の執行状況

登記年月日	登記事項
令和5年4月21日	評議員・理事・代表理事の辞任及び補欠評議員・補欠理事の就任に伴う変更登記
令和5年5月24日	代表理事（理事長）選定に伴う変更登記
令和5年6月8日	任期満了に伴う役員選定及び代表理事の選定に伴う登記
令和5年8月8日	評議員・理事の辞任及び補欠評議員・補欠理事の就任に伴う変更登記

3 評議員・役員・職員(令和6年3月31日現在)

評議員・役員			職員			
区分		現在数	備考	区分	現在数	備考
評議員		11名		事務局長	1	
				主任(総務)	1	
				センター長兼魚類科長	1	
				係長	1	
				技師	2	
役 事 理 事	理事長		1名	常勤	貝類科長	1
	副理事長		1名		係長	1
	専務理事		1名		小計	8名
	理事		12名			
	小計		15名			
員 監 事	監事		3名		普及啓発指導員	1
					種苗生産員	2
					養殖相談員	1
					生産支援員	5
	計		18名		総務支援員	1
合計		29名		小計		10名
合計		29名		合計		18名

4 理事会・評議員会に関する事項

理事会

第32回	令和5年5月16日 場所：すいさん会館 議長： 吉田彰宏副理事長 川野邊誠理事長	議事 (1) 報告事項 ① 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について ② 令和4年度出資法人等経営評価について (2) 議案 第1号議案 辞任に伴う理事長選定に関する件 (川野邊理事を理事長に選定) 第2号議案 令和4年度事業報告及び決算に関する件 (原案承認) 第3号議案 任期満了に伴う栽培漁業推進協議会委員の選任に関する件 (原案承認) 第4号議案 定時評議員会招集及び評議員会に付議すべき事項の決定に関する件 (原案承認) 第5号議案 任期満了に伴う次期役員の推薦に関する件 (原案承認)
第33回	令和5年5月31日	提案1 理事長に川野邊誠理事を選定する件

	(みなし決議) 提案者：中村丈夫理事	(原案承認) 提案 2 副理事長に清水信宏理事を選定する件 (原案承認) 提案 3 専務理事に中村丈夫理事を選任する件 (原案承認) 提案 4 上記提案を可決する旨の理事会の決議があつたものとみなされる日を、令和 5 年 5 月 31 日とする件 (原案承認)
第34回	令和 5 年 7 月 6 日 (みなし決議) 提案者：中村丈夫理事	提案 1 栽培漁業推進協議会委員の田山敏一氏（前川尻漁業協同組合代表理事組合長）の後任に現川尻漁業協同組合代表理事組合長の鈴木明男氏を選任する件 (原案承認) 提案 2 栽培漁業推進協議会委員の湯浅一夫氏（前はさき漁業協同組合代表理事副組合長）の後任に現はさき漁業協同組合代表理事副組合長の高津武弘氏を選任する件 (原案承認) 提案 3 上記提案を可決する旨の理事会の決議があつたものとみなされる日を、令和 5 年 7 月 6 日とする件 (原案承認)
第35回	令和 5 年 9 月 8 日 (みなし決議) 提案者：中村丈夫理事	提案 1 第 31 回理事会で承認された「令和 5 年度負担金及び徴収方法に関する件」のうち、漁業者等ひらめ負担金について、次のとおり変更する件 (原案承認) ①「ヒラメを漁獲する漁業者から、ヒラメ水揚げ金額の 5% の額（他港での水揚げを含む属人主義）」を、「ヒラメを漁獲する漁業者から、ヒラメ水揚げ金額の 3% の額（他港での水揚げを含む属人主義）」へ変更する。 ②「遊漁案内業者から、ヒラメ釣り遊漁者 1 人 1 日当たり 400 円」を、「遊漁案内業者から、ヒラメ釣り遊漁者 1 人 1 日当たり 240 円」へ変更する。 提案 2 漁業者等ひらめ負担金変更の適用時期を令和 5 年 10 月 1 日からとする件 (原案承認) 提案 3 上記提案を可決する旨の理事会の決議があつたものとみなされる日を令和 5 年

		9月8日とする件議	(原案承認)
第36回	令和6年3月27日 場所：すいさん会館 議長：川野邊誠理事長	<p>議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 代表理事及び業務執行理事の主要事務の執行状況について ② 令和5年度の種苗生産及び放流実績（中間報告）について <p>(2) 議案</p> <p>第1号議案 令和5年度収支予算の補正に関する件 (原案承認)</p> <p>第2号議案 令和6年度負担金及び徴収方法に関する件 (原案承認)</p> <p>第3号議案 令和6年度事業計画及び収支予算に関する件 (原案承認)</p> <p>第4号議案 公益財団法人茨城県栽培漁業協会服務規程の一部改正に関する件 (原案承認)</p> <p>第5号議案 公益財団法人茨城県栽培漁業協会の事務局長の任用に関する件 (原案承認)</p>	

評議員会

第31回	令和5年4月21日 (みなし決議) 提案者：中村丈夫理事	<p>提案1 川野邊誠氏（前茨城県農林水産部水産振興課長）の補欠評議員として現茨城県農林水産部水産振興課長の富永敦氏を選任すること (原案承認)</p> <p>提案2 青木雅志氏（前茨城県農林水産部次長兼漁政課長）の補欠理事として現茨城県農林水産部次長兼漁政課長の川野邊誠氏を選任すること (原案承認)</p> <p>提案3 比嘉年美氏（前神栖市波崎総合支所長）の補欠理事として現神栖市波崎総合支所長の安藤清之氏を選任すること (原案承認)</p> <p>提案4 斎藤一夫氏（前全国合同漁業共済組合茨城県事務所長）の補欠監事として現全国漁業共済組合茨城県事務所長の畠山嘉一氏を選任すること (原案承認)</p> <p>提案5 上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日を、令和5年4月21日とすること (原案承認)</p>
------	------------------------------------	---

第32回	令和5年5月31日 場所：すいさん会館 議長：富永敦評議員	議事 (1) 報告事項 ① 令和4年度事業報告について ② 令和4年度出資法人等経営評価について (2) 議案 第1号議案 令和4年度貸借対照表の承認に関する件 (原案承認) 第2号議案 令和4年度正味財産増減計算書の承認に関する件 (原案承認) 第3号議案 令和4年度財産目録の承認に関する件 (原案承認) 第4号議案 任期満了に伴う次期役員の選任の件 (原案承認)
第33回	令和5年8月8日（みなし決議）	提案者：中村丈夫理事

5 事業の概要

令和5年度は次の各事業を実施しました。

- 1) ヒラメの種苗生産・放流及び放流効果調査等を行うヒラメ栽培漁業事業（補助事業）
- 2) アワビの種苗生産・配付を行う放流用種苗生産事業（受託事業）
- 3) アユの種苗生産・配付を行う配付用種苗生産事業（受託事業）
- 4) 鹿島灘はまぐりの種苗量産技術開発事業（受託事業）
- 5) マコガレイの種苗量産技術開発事業（受託事業）
- 6) ホシガレイの新規種苗生産基礎技術開発事業（受託事業）
- 7) ウニ類の新規種苗生産基礎技術開発事業（受託事業）
- 8) 種苗の管理や放流方法等について指導・助言を行う放流指導事業（受託事業）
- 9) 茨城県栽培漁業センターの施設、設備の維持管理を行う栽培漁業センター保守管理事業
（受託事業）
- 10) 小学生等の見学者への対応、全国豊かな海づくり大会への参加、機関誌「茨城さいばいだより」の発行などを行う栽培漁業普及啓発事業
(協会単独事業、ただし、普及啓発指導員の配置は受託事業)

- 1 1) マサバの養殖技術開発及び養殖相談に対応する養殖産業創出事業（受託事業）
 1 2) 干しいも含有餌料等給餌有効性検証業務（受託事業）

各事業の実績は、次のとおりです。

(1) ヒラメ栽培漁業事業

漁業者や遊漁船業者の負担金等のほか、県の補助金の交付を受けて、ヒラメの種苗生産・放流を行うとともに、放流効果を把握するため、水揚げされたヒラメの市場調査を漁協に委託して実施しました。

① ヒラメ種苗生産・放流

次表のとおり、100mmサイズまでの種苗生産を当栽培漁業センターで行い、関係漁協の協力を得て、それぞれの地先海面に放流しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
ヒラメ	100mm 850千尾	113mm 990千尾	<ul style="list-style-type: none"> ・8/1～9/20 県内海域へ放流（全24回） ・自前養成親魚から充分な受精卵が得られなかつたため、山形県から受精卵を確保すると共に、初期減耗が激しい卵から40日前後の時期に紫外線殺菌水で飼育した結果、30mmまでの生残率が向上した。 ・安定生産に向け、良質な受精卵の確保を図る。

② 放流効果把握調査

ヒラメの放流効果を把握するため、県内産地市場の9漁協に委託して、漁業種類毎に漁獲されたヒラメの全長や数量等の測定と、そのうちの放流魚の一部に見られる体色異常魚の尾数等を調査しました。調査尾数は87, 263尾で、このうち体色斑から放流魚と確認されたヒラメは4, 773尾で、その混入率は5. 47%でした。

(2) 水産種苗生産技術開発事業及び放流指導事業

① 放流用種苗生産事業（アワビ）

県の委託を受けて、アワビ種苗を次表のとおり生産し、県の指示により配付しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
アワビ	35mm 240千個	35mm 240.1千個	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度放流用 ・6/27～8/2に県内漁協等へ配付した。
	35mm	40mm～30mm	・令和6年度放流用

	240千個	299千個	・サイズ・数量は令和6年3月末の測定値
	35mm 240千個	25mm～5mm 318千個	・令和7年度放流用 ・サイズ・数量は令和6年3月末の測定値

② 配付用種苗生産事業（アユ）

県の委託を受けて、アユ親魚用種苗を次表のとおり生産しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
アユ	70mm 50千尾	70mm 83千尾	・久慈川産アユ種苗（F2）を半閉鎖循環システムを用いて18℃に加温して飼育した。 ・3/13に60千尾を押川（久慈川水系）へ試験放流し、3千尾を親魚養成用、20千尾を半閉鎖循環（淡水）を用いた試験飼育用として県へ引き渡した。

③ 種苗量産技術開発事業（鹿島灘はまぐり）

県の委託を受けて、次表のとおり、鹿島灘はまぐりの種苗量産技術開発と大型種苗生産技術開発、及び標識手法の確立を目的とした茶色貝の生産技術開発を行いました。

魚種名	技術開発規模 (計画)	技術開発規模 (実績)	備考
鹿島灘 はまぐり	2mm 3,000千個	2.0mm 3,320千個	・標識手法の確立を目的とした茶色貝の種苗生産と大型種苗(5mm)の生産技術開発を行った。 ・早期育成親貝、浮遊幼生、沈着稚貝の各餌料や飼育方法については、前年度の成果を基に実施した。 ・貝殻色が茶色の親貝を用いて種苗生産した結果、茶色貝の出現は78% (R4:76%) であった。 ・大型種苗の生産は、早めの選別と低密度飼育を行った。 ・2mm種苗は9/28、10/27、11/20に、5mm種苗は9/13に県へ引き渡し、平井海岸へ放流した。

④ 種苗量産技術開発事業（マコガレイ）

県の委託を受けて、次表のとおり、マコガレイの種苗量産技術開発を行いました。

魚種名	技術開発規模 (計画)	技術開発規模 (実績)	備考
マコガレイ	50mm 150千尾	57.9mm 188千尾	○令和4年度採卵種苗 ・5/23、24に県に引き渡し、一部にALC標識を付けて平井海岸に放流した。
	50mm 150千尾	9~34mm 536千尾 飼育中	○令和5年度採卵種苗 ・令和6年度に県に引き渡し、放流する予定。

⑤ 新規種苗生産基礎技術開発事業（ホシガレイ）

県の委託を受けて、次表のとおり、ホシガレイの種苗生産基礎技術開発を行いました。

魚種名	技術開発規模 (計画)	技術開発規模 (生産状況)	備考
ホシガレイ	50mm 50千尾	79.3mm 32千尾	○令和4年度採卵種苗 ・岩手県から受精卵を導入して種苗生産を行った。 ・6/16、21、7/13に県に引き渡し、一部にパンチング標識を付けて鹿嶋沖と磯崎沖に放流した。
	50mm 50千尾	27~38mm 35千尾 飼育中	○令和5年度採卵種苗 ・岩手県から受精卵を導入して種苗生産を行った。 ・令和6年度に県に引き渡し、放流する予定。

⑥ 新規種苗生産基礎技術開発事業（ウニ類）

県の委託を受けて、次表のとおり、ウニ類の種苗生産基礎技術開発を行いました。

魚種名	技術開発規模 (計画)	技術開発規模 (実績)	備考
ウニ類 (キタムラサキウニ)	10mm 50千尾	2~10mm 226千個 飼育中	<ul style="list-style-type: none">・県内から5・10月に親ウニを導入し、アラメまたは乾燥コンブを給餌して養成した。・生殖巣が発達した10~11月に採卵し、受精卵が得られた。・種苗は、乾燥コンブ及びコンブ抽出粕を給餌して育成中。・令和6年度に県に引き渡し、放流する予定。

⑦ 放流指導事業

県の委託を受けて、漁業者がハマグリ移植放流の際に使用する腰カッターの改良に取り組むとともに、アワビ、ヒラメの放流時に指導・助言を行いました。

(3) 栽培漁業センター保守管理事業

県の委託を受けて、茨城県栽培漁業センターの機械設備の点検・修繕等の実施や施設内の安全確保を図るとともに、夜間・休日の警備など施設・設備の維持管理を行いました。

震災前の浸透取水方式から直接取水方式へ変わったことによる取水系統の新たなメンテナンスに適宜対応しました。

(4) 栽培漁業普及事業

茨城のつくり育てる漁業の普及啓発を図るため、次の事業を行いました。

① 展示施設の一般開放

栽培漁業に関する説明や施設の案内等の普及啓発業務を行うために専門の普及啓発指導員を配置しました。

今年度の見学者数は、学校関係を中心に4, 740人（R 4 : 4, 479人）でした。

② 全国豊かな海づくり大会への参加

水産資源の維持培養と海の環境保全に対する国民の意識高揚等を図り、水産業の振興と豊かな活力に満ちた地域産業の発展に資することを目的に「第42回全国豊かな海づくり大会」が令和5年9月17日（日）に北海道において、天皇皇后両陛下のご臨席のもと開催されました。

本県では、当協会が事務局となり、県、市町、水産関係団体などからなる参加団を組織し、12名が参加しました。

③ 機関誌の発行等普及事業の実施

栽培漁業などつくり育てる漁業を推進するため、当協会の機関誌「茨城さいばいだより」の発行及び栽培漁業啓発用パンフレットを作成したほか、ホームページ等により当協会の活動や栽培漁業センターの施設を紹介しました。

(公社) 全国豊かな海づくり推進協会発行の機関誌を関係団体に配布したほか、つくり育てる漁業の推進関係中央団体の国への要請活動等に参加しました。

茨城県漁業研究協議会及び茨城県漁業士会に助成し、その活動を支援しました。

(5) 養殖産業創出事業

① マサバ養殖技術開発試験

県の委託を受けて、マサバの養殖技術開発を行いました。

魚種名	技術開発内容	技術開発内容 (実施状況)	備考
マサバ	親魚育成	<ul style="list-style-type: none">・3月に釣獲(321尾)及び購入(60尾)した天然魚を餌付けして育成した。また、R3年生産のF1種苗27尾を育成した。	
	採卵	<ul style="list-style-type: none">・加温とホルモン投与による成熟促進を行い、人工採卵及び自然採卵を行った。・5/19～6/22に受精卵309万粒を確保した。	
	種苗生産	<ul style="list-style-type: none">・ふ化仔魚48.9万尾を用いて4回次の種苗生産を行った。・選別による共喰い対策や、酸素発生装置の導入等による高水温対策を行い、27,500尾を生産した。	
	出荷	<ul style="list-style-type: none">・10/17～19に那珂湊の海面いけすへ25,000尾(145mm、26g)を出荷した。	

② 養殖業相談

県の委託を受けて、養殖参入希望者への技術相談に対応するとともに、県の要請に応じて企業誘致活動へ同行しました。

相談業務6件(飼育技術に関する事、栽培漁業センター視察対応等)、情報収集46件(農林水産省主催の養殖関係会議への出席等)に対応しました。

(6) 干しいも含有餌料等給餌有効性検証業務

県の委託を受けて、干しいも残渣粉体を0%、5%、10%の割合で混ぜ込んだ養殖用餌料を作成して、マサバ、アワビ、ウニ(稚ウニ、成ウニ)への給餌試験を行い、成長・生残への影響や旨味成分・食味への影響を検証しました。